



白ねぎ便り（11月号）



1. 九州北部地域の気象予報

1か月予報 10/25～11/24 **福岡管区気象台10/23発表**

気温 暖かい空気に覆われやすいため、**高い**でしょう。

降水量 天気は数日の周期で変わり、晴れの日が多く**平年並**でしょう。

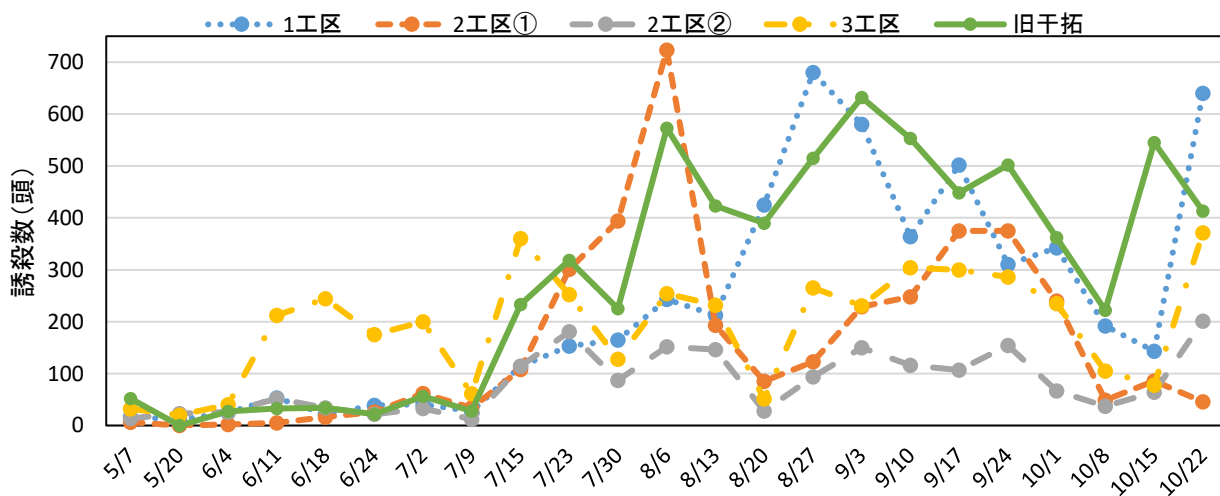
3か月予報 11～1月 **福岡管区気象台10/21発表**

気温 暖かい空気に覆われやすいため、**平年並か高い**でしょう。

降水量 低気圧の影響を受けにくい時期があるため、**平均並か少ない**でしょう。

2. シロイチモジヨトウについて（トラップ誘殺数）

- ・依然誘殺数は高い値で推移しています。
- ・平均気温が15℃まで下がるとシロイチモジヨトウの生育は止まるので、それまでは引き続き圃場の確認をお願いします。



3. 葉枯病

- ・不規則な黄色の斑紋、褐色の楕円形病斑の発生がないか注意してください。
- ・気温が25℃前後で降雨が続くと発生しやすくなります。
- ・べと病等の発病痕や生理障害による葉先枯れに生じる場合があります。

F R A C	農薬名	使用時期	使用方法	使用回数
M5	ダコニール1000	収穫14日前まで	散布	3回
3 M3	テーク水和剤	収穫14日前まで	散布	3回
11	アミスター20フロアブル	収穫3日前まで	散布	4回
7	アフェットフロアブル	収穫前日まで	散布	2回
	カナメフロアブル	収穫前日まで	散布	4回

4. べと病

- ・べと病は糸状菌(カビ)による病害で、発病適温10～15℃、多湿になると発病が助長されます。
- ・べと病は潜伏期間が長く、感染済みなので予防散布が重要になります。
- ・予防散布の1回目は治療効果と浸透移行性のある、ベトファイター顆粒水和剤、プロポーズ顆粒水和剤、メジャーフロアブルなどを使用し菌密度を下げると効果的です。

F R A C	農薬名	使用時期	使用方法	使用回数
11 4	ユニフォーム粒剤	土寄せ時 収穫45日前まで	株元土壌混和	1回
11	メジャーフロアブル	収穫前日まで	散布	3回
40 M5	プロポーズ顆粒水和剤	収穫14日前まで	散布	3回
M3 4	リドミルゴールドMZ	収穫14日前まで	散布	3回
3 M3	テーク水和剤	収穫14日前まで	散布	3回
27 40	ベトファイター顆粒水和剤	収穫14日前まで	散布	3回
40 M3	カンパネラ水和剤	収穫14日前まで	散布	3回
40	レーバスフロアブル	収穫7日前まで	散布	2回
21	ランマンフロアブル	収穫3日前まで	散布	4回
21 27	ダイナモ顆粒水和剤	収穫3日前まで	散布	4回

5. 今後一カ月の施肥について

- ・気温の低下に伴い、白ねぎの生育適温である15～25℃が続いています。この時期は肥料吸収が活発に行われますが、チッ素が優先して吸われやすく、軟弱に生長して倒れたり、各種の病気に感染しやすくなる可能性があります。
- ・寒くなる前に十分な根量を確保しないと太りが鈍くなるため、リン酸を主体とした追肥で発根や根量確保を狙ってください。垂リン酸液肥（ホスプラス、Pフォスタ等）は通常のリン酸よりも吸収率が高いので、太さが欲しい場合や葉が柔らかすぎる場合は効果が期待できます。

農薬については最新情報を確認して記載していますが、購入前と使用前に必ずラベルの記載内容についてご確認ください。

また葉面散布剤を農薬と混用する場合、薬害が出る組み合わせもありますので、チラシ等の記載を確認して使用してください。

問い合わせ先 **(2025.10.27発行)**

北部振興局生産流通部(0978-32-1555)

園芸第1班(宇佐市)玉井・渡邊(総括)

園芸第2班(豊後高田市)姫野・安部・安部(総括)